

市町村(学校組合)立学校及び県立学校養護教諭育成指標

ステージ 職 キーワード		養成	基礎・向上	充実・深化	発展①	発展②	発展③	
		養護教諭				主幹教諭・指導教諭	副校長・教頭	
		志・基盤	基礎・基本	主体性・専門性	高度性・指導性	経営参画、指導・助言	校務運営、補佐・管理	
資質・能力		養護教諭として、職務に対する志を高め、求められる資質・能力の基盤を形成する。	若年養護教諭として、職務に関する基礎的・基本的な資質・能力を形成する。	中堅養護教諭として、主体的に組織運営にかかわるとともに、職務に関する専門性を高める。	エキスパート養護教諭として、組織運営を主導するとともに、職務に関する専門的で高度な実践を展開し、指導性を発揮する。	養護教諭の発展②（主幹教諭・指導教諭）については、市町村(学校組合)立学校教諭育成指標又は県立学校教諭育成指標に依ることとする。	養護教諭の発展③（副校長・教頭）については、市町村(学校組合)立学校教諭育成指標又は県立学校教諭育成指標に依ることとする。	
教職としての素養	教育公務員に求められる基本的な能力	法令遵守	法令を遵守することの重要性を理解できる。	不祥事防止に係る理解を深め、法令を遵守した教育活動及び保健管理を行うことができる。	不祥事防止に係る理解を深め、根拠となる法令を理解し、法令を遵守した教育活動及び保健管理を行うことができる。			不祥事防止に係る理解を深め、根拠となる法令を理解し、法令を遵守した教育活動及び保健管理を行うことができ、他の養護教諭に指導・助言することができる。
		事務処理	学校事務の内容について理解できる。	学校事務の正確・丁寧な処理ができる。	学校事務の正確・丁寧で効率的な処理ができる。			学校事務の正確・丁寧で効率的な処理ができ、他の養護教諭に指導・助言をすることができる。
	教育公務員の使命感と責任	使命感と熱意	教育公務員の崇高な使命を理解し、志を立てることができる。	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員として行動できる。	教育公務員としての自覚を高め、養護教諭の立場から組織の推進役としての行動ができる。			教育公務員のモデルとしての自覚を深め、経験豊富な養護教諭としての立場から同僚へ具体的な助言をすることができる。
教職の実践	保健管理の力	保健管理	健康観察、健康診断、救急処置及び疾病の予防・管理等に関する基礎的、基本的な内容を理解できる。	健康観察、健康診断、救急処置及び疾病の予防・管理等を適切に実施できる。	健康観察、健康診断、救急処置、疾病の予防・管理等について、学校全体で取り組むための組織体制を整えることができる。			関係者と連携した組織的な保健管理の充実を図るとともに、指導的役割を果たすことができる。
		健康相談	学校保健安全法による健康相談の位置付け及び発達段階における健康課題とその対応について理解できる。	健康相談の基本的プロセスを理解し、児童生徒の心身の健康課題や現代的な健康課題との関連を踏まえた支援を実施できる。	児童生徒の心身の健康課題を的確に判断し、早期発見・早期対応を行うとともに、関係者と連携した支援を展開することができる。			児童生徒の心身の健康課題への対応にあたって、関係者等との連携におけるコーディネーターの役割を果たすとともに、校内において指導的役割を果たすことができる。
	保健教育と生徒指導の力	保健教育	学校保健安全法、学習指導要領の理念と内容を理解し、保健教育のイメージをもつことができる。	保健教育における養護教諭の役割を理解し、各教科等の特性を踏まえた保健教育を実施することができる。	各教科等の特性を踏まえ、養護教諭の専門性を生かした保健教育の充実を図ることができる。			保健教育の指導体制の工夫改善に努め、組織的に進めるとともに、養護教諭の専門性を生かした効果的な保健教育を展開することができる。
		児童生徒理解	児童生徒指導の意義・重要性を理解できる。	児童生徒を取り巻く環境や発達の状況を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	児童生徒を取り巻く環境や発達の状況を理解し、児童生徒一人一人に応じた適切な対応をすることができる。			児童生徒一人一人を取り巻く環境や発達の状況を理解し、学校・家庭・地域で支えることができるようコーディネートをすることができる。
	保健組織活動の力	保健組織活動	保健組織活動や学校保健に関する学校内外の協力体制の重要性を理解できる。	保健組織活動の意義を理解し、関係者等と連携して、児童生徒の健康づくりに取り組むことができる。	保健組織活動の企画・運営に参画し、関係者等と連携して児童生徒の健康づくりを進めることができる。			保健組織活動の活性化を図り、児童生徒の健康づくりを効果的に推進することができる。
	連携・協働の力	学校組織の理解と参画	学校組織や校務分掌とともに、養護教諭の役割と職務内容を理解できる。	学校の教育目標・重点目標を理解し、その具現化に向け、保健室経営計画を作成し、実践することができる。	学校教育目標の達成における保健室経営及び学校組織の在り方について考えをもち、養護教諭の立場から主体的に学校運営に参画することができる。			養護教諭の立場からビジョンの策定やプラン構築を主導することができる。
		自己啓発・人材育成	研修や自己啓発により、養護教諭としての資質を高めることの重要性を理解できる。	自己の役割を自覚し、教育活動にかかわるとともに、研修を通して保健管理・保健教育に関する基礎・基本を身に付けることができる。	自己の役割を自覚し、校内研修等を計画・実施し、課題を共有しながら解決を図ることができる。			自己の役割を自覚し、学校全体の課題に応じた校内研修等を計画・実施し、指導性を発揮し組織的に解決を図ることができる。
		危機管理	危機管理の重要性及び危機を察知した際の行動の大切さを理解できる。	安全に配慮した環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な報告・連絡・相談ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見・早期対応を組織的に行うことができる。			学校全体を見通し、状況や傾向から、組織的で具体的な対応を主導することができる。
保護者、地域等との連携		ボランティア活動等を通じて、保護者や地域連携の重要性を理解できる。	保護者、地域と積極的に関わり、児童生徒の健康課題等について、共通理解を図ることができる。	保護者、地域、接続校、関係機関と積極的に関わり、児童生徒の健康課題解決に向けて、連携・協働した取組を主体的に推進することができる。	保護者、地域、接続校、関係機関と積極的に関わり、児童生徒の健康課題解決に向けて、連携・協働した効果的な取組を主導することができる。			